

一次研究用フォーム		データ記入欄	
基本情報	対象疾患	悪性黒色腫	
	タイプ	医学専門情報	
タイトル情報	論文の英語タイトル	Palliative radiotherapy for metastatic malignant melanoma: brain metastases, bone metastases, and spinal cord compression	
	論文の日本語タイトル		
診療ガイドライン情報	ガイドラインでの引用有無	1.有り 2.無し (1)	
	ガイドライン上での目次名称	MMCQ19-13	
書誌情報	研究デザイン	I. システマティック・レビュー／メタアナリシス II. 1 つ以上のランダム化比較試験 III. 非ランダム化比較試験 IV. 分析疫学的研究（コホート研究や症例対照研究） V. 記述研究（症例報告やケースシリーズ） VI. 患者データに基づかない、専門委員会や専門家個人の意見（ I V ）	
	Pubmed ID	2460420	
	医中誌 ID		
	雑誌名	Int J Radiat Oncol Biol Phys	
	雑誌 ID		
	巻	15	
	号	4	
	ページ	859-64	
	ISSN ナンバー		
	雑誌分野	1.医学 2.歯学 3.看護 4.その他 (1)	
	原本言語	1.日本語 2.英語 3.ドイツ語 4.その他 (2)	
	発行年月	1988 年	
	著者情報		氏名
筆頭著者		Rate WR	ペンシルバニア大学
その他著者 1		Solin LJ	Fox Chase 癌センター
その他著者 2		Turrisi AT	ペンシルバニア大学
その他著者 3			
その他著者 4			
その他著者 5			
その他著者 6			
その他著者 7			
その他著者 8			
その他著者 9			
その他著者 10			

一次研究の 8 項目	目的	転移を生じている悪性黒色腫に対する姑息的放射線治療の意義を検討する。	
	研究デザイン	後ろ向きコホート研究および症例対照研究	
	セッティング	ペンシルバニア大学、Fox Chase 癌センター	
	対象者	脳転移、骨転移、脊髄圧迫を有する 77 例	
	対象者情報（国籍）	1.日本人 2.日本人以外 3.国籍区別せず （3）	
	対象者情報（性別）	1.男性 2.女性 3.男女区別せず （3）	
	対象者情報（年齢）	1.乳幼児 2.小児 3.青年 4.中高年 5.老人 6.乳幼児・小児 7.乳幼児・小児・青年 8.乳幼児・小児・青年・中高年 9.乳幼児・小児・青年・中高年・老人 10.小児・青年 11.小児・青年・中高年 12.小児・青年・中高年・老人 13.青年・中高年 14.青年・中高年・老人 15.中高年・老人 16.乳幼児・青年 17.乳幼児・中高年 18.乳幼児・老人 19.小児・中高年 20.小児・老人 21.青年・老人 22.年齢区別せず （22）	
	介入（要因曝露）	全例にステロイドの大量療法 全身的な化学療法(44 例)：DTIC、ニトロソウレア系、CDDP 65 例：1 回 4 Gy 以上で週二回照射、計 30 Gy 12 例：1 回 3 Gy で計 30 Gy	
	エンドポイント（アウトカム）	エンドポイント	区分
	1	疼痛緩和率	1.主要 2.副次 3.その他（3）
	2	一回線量、総線量と緩和率	1.主要 2.副次 3.その他（3）
	3	生存率	1.主要 2.副次 3.その他（3）
	4		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	5		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	6		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	7		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	8		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	9		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	10		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	主な結果	脳転移 平均生存期間：14 週間 予後因子：独立した因子なし（化学療法施行例は不良） 骨転移 疼痛緩和効果：26／39 例 総線量、1 回線量と緩和率に相関なし 脊髄圧迫 神経症状完全消失：8／17、部分改善：4／17 しかし、3 例で椎弓切除術施行している 線量と効果とに相関なし（本文ではなしと書いてある）	

	結論	症状緩和率は1回線量、総線量に関係していない。
	備考	
レビューワーコメント	レビューワー氏名	鹿間直人
	レビューワーコメント	症例数が少ないにもかかわらず、転移部位別の検討を加えており統計解析はほとんど不可能。症状改善の尺度も明記されていない。 95%信頼区間の記載もない。 レベル I V